保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和2年1月31日

事業所名 児童発達支援センター歩路

保護者等数(児童数)63(66) 回収数 53 割合 84.1 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	41	2	0	10	・実際に見学に行っていないのでわからない。 ・いつでも見学できることに逆に難し日なけるため、参観されているとよい。 ・部屋は広くて活動しやすいと思う。	・クラスにより若干の差はありますが、運動遊びやルール遊びができる広さを概ね確保でいます。また動も取り入れます。・見学につきましています。・見学につきましています。・見学につけ付けてい連をで、希望日といただけ望したたださせていたださせていただきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	40	1	0	12		・配置基準は十分満たしています。また、支援員以外にセラピスト(没員以外にセラピスト(設定・工理学療法士)を配置し、集団や個別の対応を実施しています。セラピストの専門的な助言も参考にしながら支援を行っています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、パリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	39	1	0	12		・視覚支援ツール等も活用しながら、お子さまにわかりやすい環境設定に努めています。 玄関や廊下、療育室においても段階段には、廊下・階段には手すり、また、エレベーターも設置しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	44	1	0	8		・毎年を実施しています。 ・毎年を実施しています。 ・毎年を実施が流に湿 度・室を発売が高に湿 度・室を療がこれでいいます。 ・空でもまがいます。 ・ででは、 ・ででがは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででがは、 ・ででがは、 ・ででがは、 ・ででは、 ・でがは、
	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作 成されているか	50	1	0			・支援計画についてはアセスメントシートや保護者からの聞き取り等で得られたニーズや態題、お子さて客観的に分析した個別支援計画書を作成するよう努めています。

適切な支援の提供	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	47	1	0	5	私達の支援願望もま た違ってくる。 ・児童発達支援ガイド	支援ガイドラインの項
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われ ているか	48	1	0	4		・支援計画の内容は概ね6ヶ月ごとにモニタリングを実施し、お子さまの発達段階に合わせた支援計画を作成し療育を行っています。
	8	<u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか	45	4	0	4		・季節にや運ル・手のは、 ・季節にや運ル・音のを ・季節にや運ル・指をできる。 ・一手を開いた。 ・を選り、 ・を記して、 ・を記して、 ・を提供して、 ・を提供して、 ・を提供して、 ・を提供して、 ・を提供して、 ・を提供して、 ・を提供していきないきます。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	26	5	1	21		・事業所とはこと活動ませんが、ごさまは併行多し、これのあるお子は、でいる方とはが、ごさまは併行多く、また、まの併行通園をされている方として、事の併行通園をされている方として、事の併行通園をされている為した。とも、また、まの代表があります。
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説 明がなされたか	48	3	0	2		・利用前の見学や利用 契約時に運営規定、施 設概要や利用料、活動 プログラムについてご 説明しています。不明 な点につきましては、 その都度回答をさせて いただいています。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	49	2	0	2	・具体的な説明はない様に思う。この支援はこのような効果がはこのような対果があるという説明がほしい。	・個別支援計量の内容については、具らい、十分な説明を得たしていては、現らい、十分な説明を得た上でして、要をできる。 できる

							T	T
保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム(<u>ペアレ</u> <u>ント・トレーニング*4</u> 等)が行われているか	34	6	0	13		・今年度は9月~10月 にペアレント・プログラ ムを実施いたしました。今後も実施せていた だきますので、ご興味 のある方はぜひご参加 下さい。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	44	5	1	1	・迎えの際やメールな どで様子を教えても らっている。	・連絡帳アプリ(コドモン) や電話連絡等で当日の様子や体配がきるするにいただいでは、今後も安心してで通過でいたがいる。今後も安心しての選切している。では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	43	8	1	1	・もう少し強く助言が ほしかった。	・毎年5月に年長児保保養者との就学中中原別に年春との別に年ののでは、9月に者とのの保護を開いる。 明明 のいます いいこう いいこう いいこう いいこう いいこう いいこう いいこう いいこ
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援され ているか	29	4	4	16	・開催時期に偏りが ある。	・保 に は を ない は かい ただい が 後 の 、
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	48	4	0	1	・対応がとても早く、 親切で安心できる。	・相談や申し入れにつつるは対応は迅速にて対応する。また、公認でいったに言語にない。また、公認の理療とは、はいまでは公理を受ける。というにはいる。というにはないる。というにはいる。というにはいる。というにはいる。というにはいる。というにはいる。というにはいる。というにはいる。というにははいる。というにはいる。というにはいる。というにはいる。というにはいる。というにはいる。というにはいる。というにはいる。というにははいる。というにはいる。といるにはないる。というにはないる。というにはないる。というにはないる。といるはないる。といるはないないる。といるはないる。といるはないる。といるはないる。といるはないる。といるはないる。といるはないる。といるはないる。といるはないる。といるはないる。といるはない
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達 のための配慮がなされているか	47	5	0	1		・連絡帳やおたより等を通して、情報伝達が正確に速やかにできるよう努めています。緊急性の高い内容については電話連絡にてタイムリーに伝達するよう努めています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務 に関する自己評価の結果を子どもや保護者 に対して発信されているか	39	4	1	8	・早めに知らせてほしい。 ・紙の配布がなくなり、アプリでおたより が見れない。 ・毎月メールで来るの で分かりやすい。	・サット ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

	19	個人情報の取り扱いに十分注意されている か	43	1	0	8		・個人情報の取り扱いに写名前標では、製物時間に写名前掲載では、製物時間では、関係を表示を取り扱いでは、書を取り扱いまで、まを取り扱いまの情報のできる。書を取り扱いまの情報のでは、には、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、
非常時等の	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	31	7	0	4		・緊急時を想定したママや理定したママや理策者対の、はの方に関係をできまずをできた。 では、大きないが、ないでは、大きないがでは、は、大きないがでは、は、大きないができません。 ででは、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、大きないが、できないがいが、できないがいが、できないが、できないが、できないが、できないが、できないがいが、できないが、できないが、できないが、できないが、できないが、できないがいがいがいが、できないがいできないがいできないがいできないがいいいがいできないがいできないがいがいできないいできない
の対応	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出、その他必要な訓練が行われているか	48	1	0	3		・毎月実施する避難訓練では、火災や地震施すると地震施した。 想定したす。避難時にといます。 でいます。追は注意が伝いまうなようなようなよ子で、はいまさまの、などであればお知らせください。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	41	9	1	1	・苦手なプログラムの際は嫌がる。 ・活動が簡単すぎて刺激が少ない。 ・色々な体験ができて、良い。 ・いつも楽しかったとたくさん話をしてくれる。	・今後をはいる。 きょく できょく できょう できまが かった できまが かられる 大き できる からい できまが からい できない できない できない できない できない できない できない できな
	23	事業所の支援に満足しているか	47	3	1	1	・通所が楽しく感じる 活動を提供してほしい。 ・いつも大変お世話 になり、感謝してい る。 ・気になることに対し て必ず返事があり、 ありがたい。	・今後も保護者の方が 気軽に相談できるような信頼関係を築けるよううに努めます。で気に や併行通園先で気になることがあれば、お気軽にご相談ください。

^{*1} この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

^{*2} 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援や理事任者が作成する

^{*3} 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

^{*4} 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。